

# I C Tフォーラム in 神話の国出雲

## ～ 「超高齢社会」医療・健康に活かす I C T ～

### 【アンケート集約結果】

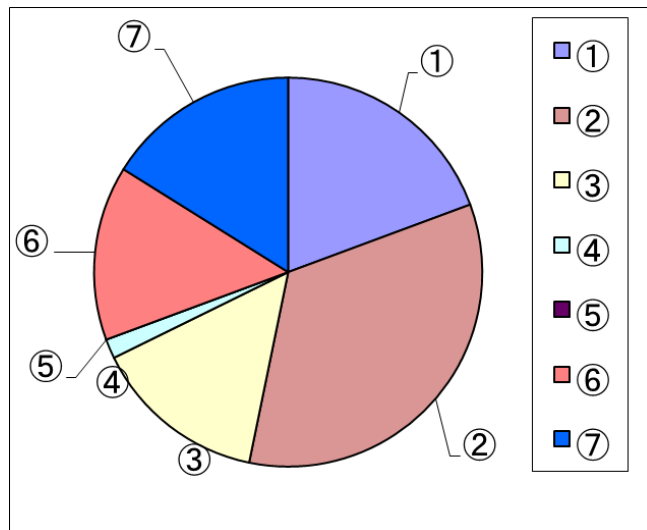
- 日時 平成25年10月3日(木) 14時00分～17時00分
- 会場 出雲市民会館 3F 301会議室
- 主催 総務省中国総合通信局 島根県 国立大学法人島根大学 中国情報通信懇談会
- 後援 出雲市
- 参加者数/アンケート回収数 54名/83名 (回収率65.1%)

#### 1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ① 中国情報通信懇談会    ② 中国総合通信局    ③ 島根県    ④ 国立大学法人島根大学
- ⑤ 出雲市    ⑥ 上司・同僚・知人等    ⑦ その他

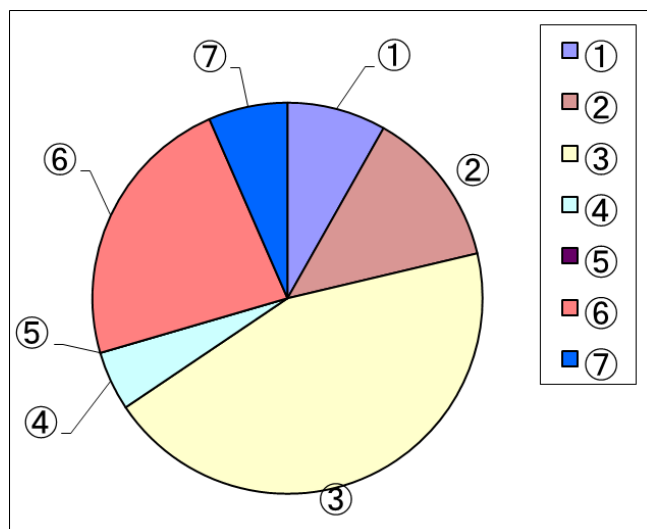
番号	回答数
①	12
②	21
③	9
④	1
⑤	0
⑥	9
⑦	10
計	62



#### どのような方法で

- ① HP    ②メールマガジン    ③メール    ④記事等    ⑤FAX    ⑥直接聞いて    ⑦その他

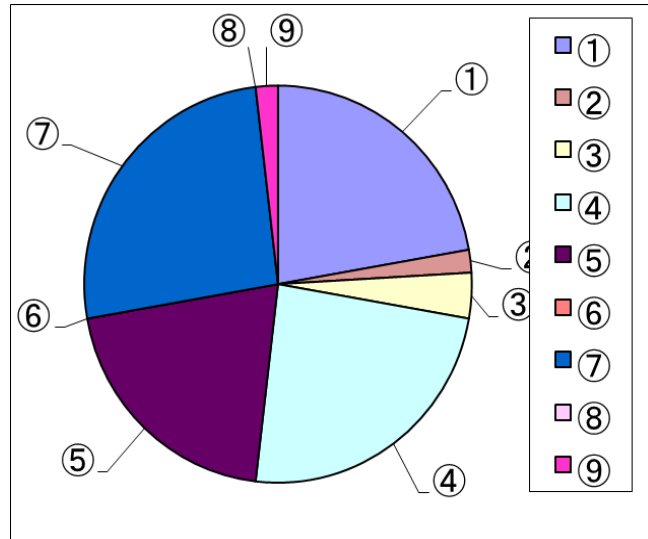
番号	回答数
①	5
②	8
③	27
④	3
⑤	0
⑥	14
⑦	4
計	61



2 貴方が所属する企業・団体の主な業務分野は次のどれですか。一つ選んで番号に○印をつけてください。

- ① 医療    ② 製造・販売    ③ エネルギー    ④ 情報通信    ⑤ 放送    ⑥ サービス  
 ⑦ 公務    ⑧ 学生、その他の事業    ⑨ 個人

番号	回答数
①	12
②	1
③	2
④	13
⑤	11
⑥	0
⑦	14
⑧	0
⑨	1
計	54



3 本フォーラムの各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

講演1 『我が国におけるICT活用による展望と課題～平成25年情報通信白書から～』

講師：総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 情報通信経済室長 増山 寛 氏

大変参考になった	9	興味がわく話だった	15
参考になった	35	興味がわかない話だった	4
あまり参考にならなかった	6	おもしろかった	5
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	1

1. 定期的な開催（情報提供）をされたい。
2. 資料のボリュームが多く、理解するのにパワーが必要だった。
3. 現況をひとまとめに理解する良い機会となった。
4. 日本人は不安感が高い理由を知りたい。
5. 資料の活字が小さく、見にくかった。せっかくの話についていけなかった。
6. 資料が見にくい。
7. 特に第2章第3節は興味がわく話だった。
8. 高齢化が進む中でICTを利用して何ができるか、何が求められているかを考える必要があり、「スマートプラチナ社会」実現のためには、複雑なハードウェアを意識させないインターフェースやソフトウェアを考えていく必要がある。  
利用者を中心としていろいろなことを考える必要があると思う。

## 講演2『地域包括ケアシステム と まめネット』

講師：特定非営利活動法人 しまね医療情報ネットワーク協会 理事 杉浦 弘明 氏

大変参考になった	15	興味がわく話だった	29
参考になった	32	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	3	おもしろかった	5
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 今後の医療方向について、とても参考になった。多くの方に知ってもらいたいと強く感じた。今後も応援していきたい。
2. これからは、自助、互助を主体的に考え、それをアシストするために、どのようなサービスを提供するかということが重要になってくると考えます。  
自助の部分での予防医療（健康管理など）に関われるようなサービスの提供、情報の提供を考えていく必要がある。
3. ひとりの医療に多くの方が関われる中で非常に良いシステムだと思う。  
早く私たちの地域にも拡がるように願う。

## 講演3『医療における電波通信の利用と電磁環境』

講師：国立大学法人島根大学 医学部附属病院 准教授 医療情報部副部長 花田 英輔 氏

大変参考になった	24	興味がわく話だった	23
参考になった	26	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	20
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 早口でわかりにくかった。  
内容が盛りだくさんで時間が長かった。
2. 病院でのシステムがよくわかった。  
医療機器への影響はこわいと思っていたのが、よくわかった。

### 4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 公衆無線LANの普及
2. 災害時に有線系ネットワークが断線したときにバックアップできる無線システム
3. RFID、VoIP等の先進活用事例
4. 衛星通信を利用した固定、モバイルへの拡大（コンシューマ向け）
5. 市町村防災無線のデジタル化の推進について
6. 電波の混信をどうするか

### 5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. RFIDの利活用
2. 無線LANの高速化、セキュリティ対策等の技術動向
3. 地域BWAの活用事例と今度の動向
4. WWAN、WLAN等の無線技術
5. 種々の分野における電波利用の実態について
6. 番号制度の動向
7. 教育におけるICT活用
8. 毎年開催される電波通信、電磁波の講演会に花田氏のお話もいいのでは。
9. スポーツ解説者等の講演の実施